

**事務事業マネジメントシート**  
**(兼)予算編成資料・実施計画資料**

作成日 H 25 年 3 月 22 日作成

<b>事務事業名</b>	中巨摩郡教育協議会(司書)参画事業			<b>所属部局</b>	教育委員会	<b>単位番号</b>	12018				
	□ 実施計画事業			<b>所属課室</b>	教育総務課	<b>課長名</b>	新津 岳				
<b>基本政策</b>	V	個性と文化を育む都市づくり		<b>所属担当</b>	教育政策推進担当	<b>担当者名</b>	依田 明子				
<b>政策</b>	23	学校教育の充実		<b>予算科目</b>	会計	名称	款	項	目	細目	細々目
						01	一般	10	01	02	020
<b>施策</b>	36	「生きる力」を育む学校教育の推進		<b>事業区分</b>	□ 国の制度による義務的事業		□ 施設等維持管理事業				
					□ 県の制度による義務的事業		□ 補助金交付事業				
<b>事業期間</b>	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)			<b>法令根拠</b>	□ 市の制度による義務的事業		□ その他の事業				
					□ 義務化されている協議会等の負担金						
<b>事務事業の概要</b>	<b>事業の内容</b> : 期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載 <small>旧中巨摩郡内の学校司書による教育協議会への参画</small>			<b>事業費の主な内訳 (24年度 決算見込)</b>							
				<b>項目(細節)</b>	<b>金額(千円)</b>	<b>項目(細節)</b>	<b>金額(千円)</b>				
			法令外負担金	0							
							計 0				

**1 現状把握(DO)**

## (1) 事務事業の目的と指標

① 活動
24年度活動実績 なし
25年度活動予定 なし
② 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等
学校司書
③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていくのか、どのように変えるのか)
学校司書の資質の向上
④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)
生きる力を育む教育の推進

⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)数字は記入しない
名称
ア 開催回数
イ
ウ
⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)数字は記入しない
名称
ア 参加延べ人数
イ
ウ
⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)数字は記入しない
名称
ア 司書の満足度
イ
ウ
⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)数字は記入しない
名称
ア
イ

(2) 事業費・指標の推移		単位	23年度 (決算・実績)	24年度 (決算見込・実績)	25年度 (予算・目標)	26年度 (次年度計画・目標)	27年度 (計画・目標)	28年度 (計画・目標)	最終 年度 (トータルコスト・目標)
年間事業費 トータルコスト	財源内訳	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源	千円 千円 千円 千円 千円						
		事業費計 (A)	千円	38	0	0	0	0	0
	人件費	正規職員従事人員 延べ業務時間	人 時間	1 1	1 0				
		人件費計 (B)	千円	4	0	0	0	0	0
		(A)+(B)	千円	42	0	0	0	0	0
		活動指標	ア イ ウ						
		対象指標	ア イ ウ						
		成果指標	ア イ ウ	%					
		上位成果指標	ア イ						

## (3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか?	合併前から加入し、各町村とも参画していた。中巨摩教育会館の建設費負担金と併せ、学校司書の中巨摩教育協議会主催研修参加費補助として支出していた。
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べどう変化しているか?また、今後の予測は?	中巨摩教育会館の建設事業は平成元年5月14日に竣工により終了。平成22年度には建設費の負担金は終了。平成23年度は緩和措置として学校司書の研修費補助のみ支出してきた。
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか?	特別なし。

## (4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は?	<input checked="" type="checkbox"/> 取り組みしている ⇒【内容↓】 <input type="checkbox"/> 取り組みしていない ⇒【理由↓】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	県教職員は中巨摩教育協議会の研修費負担金を給与から天引きして納入している。このことから、市の学校司書(正職員)についても、市の補助金支出は不合理なので検討してきた。
③ H 24年度に実施した改革改善の内容	上記検討の結果、H24年度からはこの事業費は市としては負担しない旨決定し、学校司書に伝えた。

事務事業名	中巨摩郡教育協議会(司書)参画事業	所属部	教育委員会	所属課	教育総務課
-------	-------------------	-----	-------	-----	-------

## 2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか?意図が上位目的に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由↓】 学校司書の資質向上により子どもたちへの効果がある。
	②公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか? 民間やNPO、市民協働に移行することは可能か?	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由↓】 学校司書の研修費への補助のため見直し。県職員は自己負担している。
	③維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か?目的や事業の必要性を見直す余地はあるか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由↓】 学校司書の研修等組織のため
有効性評価	④成果の向上余地 今後さらに事務事業の成果を向上させることはできるか?できない場合は何が原因でできないのか?	<input type="checkbox"/> かなり向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> ある程度向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由↓】 外部組織のため困難。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか?類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか?	<input type="checkbox"/> 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入↓) <input type="checkbox"/> 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 <input checked="" type="checkbox"/> 類似事務事業がない
	⑥休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか?また成果から考えて、休止・廃止することはできるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響なし <input type="checkbox"/> 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 学校司書の資質向上のため必要。 <input type="checkbox"/> 休止・廃止ができる <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止できない ⇒【理由↓】 学校司書の資質向上のため必要。
効率性評価	⑦事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 県教職員と同様に研修費を自己負担し中巨摩教育協議会へ加入する。又は協議会は脱退し、臨時司書も含めた組織(既存の組織)を母体とし自ら研修を企画し実施する。
	⑧人件費の削減余地 成果を下げず人件費を削減できないか?(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか?)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 人件費はなし。
公平性評価	⑨受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか?受益者負担を見直す必要はないか?公平公正か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由↓】 学校司書の研鑽により受益者は市内小中学校の児童生徒である。

## 3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	H24年度は事業費は計上したが支出はしないことを学校司書に説明済み。今後、学校司書の研修の機会が失われることのないよう創意工夫し、司書部会(臨時職員も含む)において学校図書館運営に必要な研修や情報交換を行っていくことが望ましい。
②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	
④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	

## 4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)…複数選択可	(3) 改革・改善による方向性																				
<input checked="" type="checkbox"/> 廃止(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> 休止(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果)	<input type="checkbox"/> 事業統合・連携(有効性⑤の結果) <input type="checkbox"/> 成果向上(有効性④の結果) <input type="checkbox"/> コスト削減(効率性⑦、⑧の結果)	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="3">コスト水準</th> </tr> <tr> <th></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>成績水準</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	コスト水準				削減	維持	増加	成績水準	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	維持	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		低下	<input type="checkbox"/>		
コスト水準																					
	削減	維持	増加																		
成績水準	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
維持	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																			
低下	<input type="checkbox"/>																				
(2) 改革改善案について	※ 廃止・休止の場合は記入不要																				
①市内公立図書館の司書部会との合同研修などを行う。 ②できるだけ市内の施設や学校で研修することにより、旅費についても節減を図る。 ③																					
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策	(5) 事務事業優先度評価結果																				
① ② ③	成果優先度評価結果																				
	コスト削減優先度評価結果																				